

ぼだい樹 号

宝寿院歳時記

2001/11月/1日
発行所 宝寿院
津島市神明町2

コスモスが 秋風にゆれながら、祭囃子の喧燥を楽しみました。

十月の第一日曜日は、十三台の山車(だし)三台の石取車が 津島神社東門に集結して、お囃子・からくりを 奉納する秋祭りが、にぎやかに開催されました。お囃子の音を聞きつつ、詠歌練習のお坊さん達と盃を酌み交わすのも恒例の行事となりました。来年こそ無料の特等席で 秋祭りをお楽しみ下さい。時刻は午後三時半 場所は楼門下階段 腰掛けがあれば最高です。数年前にお出でになった智積院の大先生は感動の余り 石取車についていってしまっしばし行方不明。名鉄津島駅では 一時半から 車切大会が 開催されます。水筒と帽子を忘れずお出かけ下さい。祭が終わると 秋は 駆け足で通り過ぎて、十二月八日は **成道会**です。沢山の実をつけた菩提樹の下で 十一時から、参詣の皆様と一緒に おしゃか様のおさとりを再現して散華します。庭の菊を盆に盛り、おしゃか様が埋まるほど 撒きましょ。

六年に及ぶ苦行で倒れたシッタールダ王子(おしゃか様)は 村娘のスジャータから あたたかいチーズがゆのもてなしを受けます。 元氣を取り戻したおしゃか様は、菩提樹の精に導かれ、静かに金剛座へ。魔物が襲い掛かりましたが、おしゃか様はゆるぎない心で 悟りを開かれて、ここに 仏教が始まりました。

平和で 中庸の精神に貫かれた仏教は インドから遠く日本まで伝えられました。二千五百年の時を経て 私達を安らかなる世界へと いざなってくれます。

おしゃか様に 何か一つ(果物)お供えを しましよ。そうして「悟りつてなあに。」と、お尋ねして下さい。おしゃか様は、きつと 答えて下さいますよ。

十時おさめの薬師ごま終わって地蔵堂の前、阿吽の象さんの門で 勤修いたします。

正月行事と案内

一月一日午前0時 除夜の鐘と共に

厄除け薬師 お開帳

元朝大護摩 甘酒接待

御家族 おそろいで 初参りましょ。

一月一日〜八日 十時より

厄除け大護摩勤修 新年の願い

一月八日 九時半より一時 **昼食接待**

御詠歌奉詠

初薬師 法話 心の平和

毎日 **厄除け祈祷** 受け付けています。

TEL 0567・25・4154

Fax 0567・25・4199

日曜日・祭日 十時より薬師ごま厳修

星祭り **豆まき奉仕者** 受付中

沙羅の会 会員募集

(宝寿院ボランティア)

入会金 千円

平成十四年総会費 三千元

詳細 申込書は受付にあります。



